



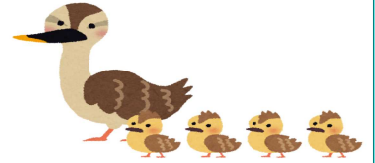
三城ものがたり

やさしく かしく たくましく

令和7年7月16日
大村市立三城小学校
発行 石司 貴弘

言うは易し 行うは難し…

子供を正しい道に導くことは親の、そして教師の使命であります。
導くうえで大切にすべきは、子供に見せる「我が背中、だ」と思うのです。



駅周辺や近くの商店や通学路に、たくさんのタバコの吸い殻が落ちている。平気でポイ捨てをする大人がいることが残念。缶ビールの空き缶など、明らかに大人が捨てたと思われるゴミがとても多い。

登下校中の小学生の多くはあいさつができる。自分からできない子もいるが、あいさつをされると、返すことができる。しかし、大人にあいさつをしても、返す人の方が少ない。

町内会の加入率が下がり、世話をしてくれる人が高齢化している。市民のための仕事を引き受ける若い人が少なくなっている。

ごみ捨てるルールがなかなか徹底できない。ゴミの分別や捨てる曜日が守られず、近くの方が好意で保管したり、清掃したりしている。

これらは、ある地域の会合で出された意見です。中には、中学生・高校生が発言したものもあります。一人の大人として、「自分は大丈夫かな?」と、考えさせられます。

どっちなのでしょう?!

私たち大人は、子供たちに幸せな人生を歩んでほしいという願いをもっています。だから、子供たちに「必要な学力」、「人とかかわり、社会を生き抜く力」を身に付けさせるべく、学校や家庭や地域社会でいろいろなことを教えています。

子供は大人の
言うとおりにする



子供は大人の
するとおりにする

さて、問題はこの教え方です。もちろん、言い聞かせて教えるという方法は必要です。なぜそうするのか、そうするとどうなるのか、このようなことを子供がわかるように伝えなければなりません。

言葉に加えて、子供に教えたいことを**大人がやって見せる**と、絶大な効果があると思うのです。



「あいさつをしましょう」「友達と仲良くしましょう」
「みんなのために気付き、動こう」「ルールやマナーを守ろう」と、
100回言うよりも、やっている背中を1回見せる方が効果的です。

◎大人が笑顔でさわやかにあいさつをする

◎落ちているゴミを率先して拾う

◎子供や地域社会のために、率先して行動する

学校職員はもちろんのこと、保護者や地域住民がみんなそろって「**子供にさせたいことを実践**」
することを心がけると素晴らしいと思うのです。

「子供に〇〇しなさいと言うけど、大人はしない」
「仲良くしなさいと言うけど、大人は人の悪口を言う」
こういうことになると、教育は土台から崩れてしまいます。

「やってみせ 言って聞かせて させてみて 誉めてやらねば 人は動かじ」
この言葉の意味するところを、大人としてかみしめたいものです。



学びに没頭し、楽しむ

1年3組の国語科「おおきな かぶ」の学習風景です。本文を読み、言葉やさし絵から場面の様子を想像します。また、登場人物はいったいどんな気持ちなのか、ポイントになる言葉、からイメージを膨らませていきます。入学して3か月ほどの子供たちが、学習にのめり込む姿に感心しました。

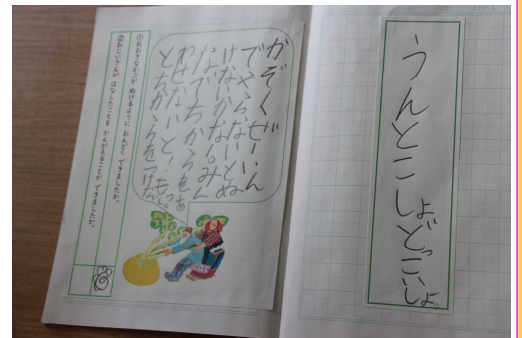
☆「うんどこしょ どっこいしょ」…文に込められた意味を体で表現します。それぞれにおもしろい動きです。

☆教師や友達の話に聞き入ります。自分と違った考えには、うなずいたり、驚きの表情を浮かべたり、聴く学びができています。

☆文を読んでわかること、想像できること、感想などをノートに書きます。文章で考えを表現することができています。

☆「いいね!」「すごいね!」「同じだね!」… 友達の考えに対して、肯定的な反応をします。このようなやり取りは、学びの深まりにつながります。

担任と子供たちが、日々共につくりあげてきたすばらしい学びの姿です。これからますます楽しみになります。



“安全”に関する意識を高める

各ご家庭や学童保育の関係者様など、関係の皆様のご理解をいただき、実地の訓練を行いました。大変暑い中ではありましたが、学校運営協議会や地域協働本部、町内会などの皆様も一緒に歩いてくださいました。

☆定められた通学路を通る

(個人の家や敷地や畑などには入らない)

☆横断歩道や踏切など、特に周りに注意する

☆上の学年の子供は、下級生の安全に気を配る。

☆具合が悪くなったり、困ったことがあったりするとき、近くにいる大人に声をかける。

などのことを学びました。上学年の子供は、下級生の人数を確かめ、見守りながら下校していました。

保護者、地域の皆様には、引き続き子供たちの安全指導にお力をいただきますようお願いいたします。